

「四国は紙國」局 事務

紙の総合マッチングサイト

昨年3月に開設、着実に成果

四国の紙業界をつなぐ総合マッチングサイト「四国は紙國(しこ)」は、2013年3月の開設から順調に訪問者数を伸ばし、11月には延べ1万人を突破した。サイトに登録された会員企業数も、当初の38社から106社(昨年末時点)まで増加。会員各企業のホ

ームページへのジャンプ数も累計2500件を超えている。

点が必要とされた。とりわけ、全ての要素に関わる「情報発信」が重要ということで、バーチャルな拠点となるサイトを開設した。当面の目標は、会員企業を200社程度まで増やし、企業間マッチングの実績をさらに積み上げる。各県や工業会の枠を超えた「オール四国」で紙業界の振興に貢献したいとしている。

同サイトは、四国産業技術振興センター(STEP、洲之内徹理 理事長)と、紙業界団体の宇摩地区キー産業振興協議会(井上和久会長)が連携して事務局運営に当たっている。四国の紙関連企業およびその商品を容易に検索できるほか、コーディネーターによるマッチングな

技術振興センター(STEP、洲之内徹理 理事長)と、紙業界団体の宇摩地区キー産業振興協議会(井上和久会長)が連携して事務局運営に当たっている。四国の紙関連企業およびその商品を容易に検索できるほか、コーディネーターによるマッチングな

四国は紙産業の一大集積地であり、静岡県に次ぐ工業出荷額を誇る。また、全国に4カ所しかない紙専門の公設試験研究機関のうち2カ所(愛媛県と高知県)が存在。10年には、愛媛大学の大学院に全

「四国は紙國」のトップページ



「四国は紙國」のトップページ

国初の紙産業特別コースも開設された。こうした強みを最大限に生かす、各社の連携を促進する同サイトの今後に注目したい。

事務局では「四国の紙産業について議論した際、これからの発展には『技術開発』『販路開拓』『情報発信』『企業交流』『人材育成』の5